

耳を澄ませて、神様の御言葉を聞く。

聖書は今を生きる私たちへのメッセージ。

北川美奈子先生が、朝の礼拝や聖書の授業を通して生徒たちに伝えたいことは、中学生という時期に神様と出会うということは、神様に愛されていること、そして、どんな時にも神様は共にいてくださる、ということを知ること。生徒たちが神様の愛と恵みを知り、実り豊かな学校生活を送ってほしい。愛される者として、隣人を愛する者として、これからを歩んでほしい。そんな願いを込めて、今日も生徒たちと聖書を読み、語り、共に祈ります。



礼拝とは喜びであり、楽しみである。

私はクリスチャンホーム4代目として生まれました。信仰を強制されることはありませんでしたが、母や祖母は自分が礼拝に行くときは必ず子ども達を連れて行きました。私たち子どもは礼拝をする母や祖母の姿を見て、礼拝とは喜びであり、楽しみなのだということを知らず知らずのうちに教えられました。洗礼を受け、キリスト者となったのは、中学3年生の夏。クラブ活動が終わり、高校受験の準備をする時期を迎え、友達と別々の学校に行くことなどに不安を感じ、洗礼を受けることで神様がどんな時も共にいてくださるのは心強くなったのです。洗礼を受けたことで、その後、様々な出来事があった時にも、イエス様が共にいてくださることに励まされ、歩んでくることができました。また、洗礼を受けたことで、「神学校で聖書のことを学びたい、神様に喜ばれる歩みをしたい」という思いが強くなりました。

今、学校で福音を宣べ伝えるのは、神様のお導き。

私が牧師になることを決めたのは、大学院2年生の秋。それまでは牧師制度のない教会で育っていたために、牧師という選択肢はあり

ませんでした。しかし、大学4年生の時、夏期伝道実習に行った四国の香長伝道圏の牧師たちと出会い、牧師という務めは、神様に仕え、教会に仕える働きであることを教えられ、牧師制度のある日本基督教団に入会。牧師を目指しながら、学校で非常勤講師をすることになりました。うまく教えられない、教師は向いてないと思いつつ格闘する日々を過ごし、ようやく伝道者となり、教会だけに仕えられるようになった時はほっとしました。その後、最初に赴任した教会を辞すことになり、次に行くまでの1年間、国立教会で協力牧師を務めながら、再び学校で聖書を教える働きが与えられました。最初の時とは違い、学校で教えることの苦手意識が薄れていることに気づきました。そして、3度目にまた講師の機会を与えられた時は、中高生に聖書の御言葉を正しく、しっかりと伝えたいという思いが湧き上がってきました。そんな時に金城学院からお誘いを受け、今の私に与えられている使命であると思ってお引き受けしました。折しも金城学院に赴任した2021年は、コロナ禍でキリスト教学校の生徒たちを教会に招くことが困難になっていた時。教会で生徒たちを待っていた私に、ただ待つだけでなく、「あなたが行って、福音を宣べ伝えなさい」と言われたと信じて、今、ここで福音を宣べ伝えることに励んでいます。



北川 美奈子 教諭

KITAGAWA Minako

金城学院中学校
宗教主事

京都に生まれ育ち、キリスト同信会にて中学3年生の時に受洗。東京神学大学修士課程前期課程修了間近に日本基督教団に入会。卒業後、恵泉女学園、フェリス女学院の聖書科非常勤講師、武蔵野横須賀伝道所(信徒伝道者)を経て、狛江教会伝道師、狛江教会牧師(担任)、駒澤教会牧師(主任)の後、駒澤教会が三軒茶屋教会と合併したため、三軒茶屋教会牧師(担任)と国立教会牧師(担任)を兼務。女子学院、横須賀学院でも聖書科非常勤講師として仕える。2021年4月に金城学院中学校宗教主事に就任。

聖書の御言葉を語り、お話を聞き、共に祈る。

中学生という時期に神様と出会うということは、神様に愛されていること、神様がいつも共におられるということを知ること。たとえ近くに友達や家族がいても孤独を感じたり、自分のことが好きになれないという時があります。そういう気持ちを持ちやすいのが中高時代です。だからこそ、どんな時も神様は私たちを愛し、共にいてくださることを伝え続けることが必要です。また、神様に出会うということは、神様という大きな存在の前に首を垂れることですから、謙遜になり、自分を絶対化しません。それは人として生きていく時にとても大切なことです。また、祈ることを知ることも大切です。中高時代には、礼拝も祈りも、教会に行くことも好きではなかったとしても、人生の中で、行き詰まった時に、教会に行くことができたり、祈ることができることで救われると信じています。私は本校に赴任してから、「宗教主事は学校に仕える牧師です」と自己紹介してきました。牧師は、福音を語るだけでなく、お話を聞いて、共に祈る者です。まだまだ学校の牧師として十分に役割を果たせていると思えませんが、祈ってほしいと思う時、私のところに遠慮なくきてもらえると嬉しいです。

教えて先生!

My Favorite



家族の誕生日には手づくりのケーキでお祝いします。

ハンバーガーパンズを焼いて、月見バーガーを作りました。



趣味はお菓子づくり。教会で牧師をしている時は「こまち工房」というお菓子屋さんを保健所に登録して、ブラウニーやフルーツケーキを販売していました。今は、アレルギー対策で、乳製品を使わず、豆乳、豆乳バターなどを使うお菓子をよく作ります。シフォンケーキ、スコーンが好評。おはぎなどの和菓子やパンも作ります。

北川美奈子先生の活動アルバム

本校では、春と秋の伝道週間、クリスマスなど、一年を通して様々な宗教行事を行っています。夏のバイブルキャンプでは、今年は生徒たちと共に軽井沢のスマイスハウスに行くことができ、自然の中で神様の恵みを感じる時間を過ごしました。



2泊3日で行われたバイブルキャンプ。

私が顧問を務めるYWCA部の活動はボランティアが中心。長期休みの時には、名古屋YWCAのスーパークitchen(ホームレスの人たちへの配食サービス)のお手伝いに行ったり、生徒会と協力して、滋賀県にある止揚学園との交わりなどを行っています。



スーパークitchenでお手伝いをするYWCA部の部員たち。



秋の恵愛祭には止揚学園の方々をお招きしました。

Q. 北川美奈子先生ってどんな人?

親しみやすく、
まわりを明るくしてくれる先生。

YWCA部の活動では、はじめに聖書の一節を読んでお祈りをしてくれるのですが、すごく心に響くし、聖書のいろんな言葉に触れられるので、私たちにとって大切な時間となっています。ふだんはとってもチャームングで、生徒からは「北川ちゃん」と呼ばれ、愛されています。部活動が楽しいのも、先生が一人ひとりをちゃんと見て、困っていたら手を差し伸べてくれるから。感謝しかありません。

左から
鳩沢萌絵さん
(YWCA部部长/3年生)
内之浦愛さん
(YWCA部副部长/3年生)

